

イエス・キリストの黙示 - 第七

第三の災いと第七の王国の台頭：日曜法の預言的意義

Jeff Pippenger

2023-10-29

黙示録第十一章で、「町の十分の一」が倒れる「同じ時」に、二人の証人はしるしとして天に引き上げられる。その時、「第二の災いは過ぎ去った。見よ、第三の災いがすみやかに来る」。イスラム教は第七のラッパであり、日曜法の「地震」の「時」に来る第三の災いである。

そして彼らは、天からの大いなる声が彼らにこう言うのを聞いた。「ここへ上って来なさい。」すると彼らは雲に包まれて天に上って行き、彼らの敵は彼らを見ていた。するとその同じ時刻に大きな地震が起こり、都の十分の一が倒れ、地震で七千人が死んだ。残った者たちは恐れおののき、天の神に栄光を帰した。

第二のわざわいは過ぎ去った。見よ、第三のわざわいがすぐに来る。第七の御使いがラッパを吹いた。すると天に大きな声があつて、こう言った。「この世の国々は、我らの主とそのキリストのものとなり、彼は世々限りなく統べ治められる。」そして、神の御前に座していた二十四人の長老たちは、顔を地に伏せて神を礼拝し、こう言った。「全能の主なる神よ、今おられ、かつておられ、やがて来られる方よ、あなたに感謝します。あなたは偉大な御力を取って王として治められたからです。諸国の民は怒り、あなたの怒りが来ました。また、死者がさばかれる時が来ました。そして、あなたのももべである預言者たちと聖徒たち、またあなたの御名を恐れる小さい者にも大きい者にも、あなたが報いをお与えになり、さらに地を滅ぼす者たちをあなたが滅ぼされる時が来ました。」そして天にある神の神殿が開かれ、その神殿の中に神の契約の箱が見えた。また、稲妻と声と雷鳴と地震と大きな雹が起こった。黙示録 11:12-19

二人の証人は雲のうちに天に上り、それは預言的には天使の群れを象徴している。これらの記事で先に引用したように、またハバククの板に見られるように、ホワイト姉妹は、第一、第二、第三の天使として表される個々のメッセージが預言の歴史に到来するとき、それらは単数の天使として描写されるが、真夜中の叫びのメッセージは多くの天使によって表されると指摘している。二人の証人は、天使の軍勢によって真夜中の叫びのメッセージを宣言するとき、天に引き上げられる。したがって、彼らは「雲」のうちに天に取られる。

第二の天使のメッセージが終わりに近づいたころ、天からの大いなる光が神の民の上輝くのを見た。その光の光線は太陽のように明るく見えた。そして、「見よ、花婿が来られる。出て彼を迎えよ！」と叫ぶ天使たちの声を聞いた。

「これは、第二の天使のメッセージに力を与えることになる真夜中の叫びであった。落胆している聖徒たちを奮い立たせ、彼らの前にある偉大な働きのために備えさせるために、天から天使が遣わされた。最も才能ある人々が最初にこのメッセージを受けたのではなかった。天使たちは謙遜で献身的な者たちのもとに遣わされ、彼らを促して『見よ、花婿が来られる。迎えに出よ！』という叫びを上げさせた。その叫びを託

された者たちは急ぎ、聖霊の力によってそのメッセージを響かせ、落胆していた兄弟たちを奮い立たせた。この働きは人間の知恵や学識によるのではなく、神の力によるものであり、その叫びを聞いた神の聖徒たちはそれに抵抗することができなかった。最も霊的な者たちがまずこのメッセージを受け、かつてこの働きを導いていた者たちは最後になってこの叫びを受け入れ、『見よ、花婿が来られる。迎えに出よ！』という叫びをいっそう大きくする助けとなった。』『初期の著作』238頁。

都の十分の一を破壊するその地震の時に、七千人が殺される。その地震とは、アメリカ合衆国における日曜法のことである。預言において「都」は「王国」を意味し、アメリカ合衆国は黙示録17章の十人の王の王国の十分の一に当たる。アメリカ合衆国は日曜法という地震において打ち倒され、聖書預言における第六の王国であることをやめ、その後、十人の王の筆頭、すなわち聖書預言における第七の王国へと変じる。そして彼らは、自分たちの王国を、七つのうちに属する八番目である教皇制に与えることに同意する。

あなたが見た十本の角は十人の王であり、彼らはまだ王権を受けていないが、獣とともにひとときの間、王としての権威を受ける。彼らは一つ心で、自分たちの権力と力を獣にゆだねる。彼らは小羊と戦うが、小羊は彼らに打ち勝つ。小羊は主の主、王の王であり、また彼とともにいる者たちは、召され、選ばれ、忠実である。彼はわたしに言った。「あなたが見た、淫婦の座している水は、もろもろの民、群衆、国々、言語である。」また、あなたが獣の上に見た十本の角は、淫婦を憎み、彼女を荒れ果てさせ、裸にし、その肉を食らい、火で焼き尽くす。神がご自分の御心を成し遂げるために、彼らの心をついにし、神の言葉が成就するまで、自分たちの王権を獣に与えることに同意させたからである。あなたが見たその女は、地の王たちの上に君臨しているあの大いなる都である。ヨハネの黙示録 17章12-18節。

国際連合の十人の王たちは、「同意」して、自分たちの全世界的な「王国を獣に与える」。彼らは「一つの思い」を持っており、詩篇八十三篇で「心をついにして共に謀った」と同様である。アハブは十部族の王であり、イザヤ書二十三章においてツロの娼婦と姦淫という不法な関係を結んだ。アハブとイゼベルの不法な関係は、バプテスマのヨハネとして表されたエリヤの時代におけるヘロデとヘロデヤの不法な関係の型であった。ヘロデはローマ帝国の代表であり、ダニエル書七章ではローマ帝国は十の角から成っている。その十の角はアハブの十部族の王国によって型示されており、両者は国際連合の十人の王たちへの証しとなる。これらの不法な関係において国家を代表するアハブとヘロデの役割は、象徴的な七十年の終わりに自分の歌を歌うツロの娼婦のために、異端者の迫害を成し遂げることだった。

「王や支配者や総督らは、自らに反キリストの烙印を押し、聖徒-すなわち神の戒めを守り、イエスに対する信仰を持つ者たち-と戦いを挑みに行く竜として表されている。」牧師たちへの証言、38。

日曜法のと看、地の獣は聖書の預言における第六の王国としての支配をやめる。というのも、それはちょうどイゼベルと姦淫を犯したばかりで、その後に国際連合の主導権を握るからである。続いて、自国での日曜法の際にすでに行ったのと同様に、全世界に対して世界規模の「獣の像」を設けることを強いる。

彼は、獣の前で行う権威を与えられたあのしるしによって地に住む者たちを惑わし、剣の傷を負いながらも生きたその獣の像を造るように地に住む者たちに言った。彼には獣の像に息を与える権威が与えられており、獣の像が語り、さらにその獣の像を捧まない者はみな殺されるようにした。彼はまた、小さな者も大きな者も、富む者も貧しい者も、自由人も奴隷もみな、右の手か額に刻印を受けるようにさせた。そして、その刻印、または獣の名、またはその名の数を持つ者以外は、だれも物を買うことも売ることもできないようにした。ヨハネの黙示録 13:14-17

アハブ、ヘロデ、ローマ帝国の十人の王、そして国際連合の十人の王は、聖徒たちに戦いを挑みに行く竜を象徴している。なぜなら、イゼベルが異端と見なす者たちへの迫害を実行するのは、いつもイゼベルの愛人だからである。

このように、竜は第一義的にはサタンを表しているが、第二義的には異教ローマの象徴である。『大争闘』439頁。

日曜法の地震のとき、「七千」人が「殺される」。ダニエル書11章41節には、「多くの者が倒される」とある。日曜法が到来したときに倒されるのは、危機に備えてこなかったラオデキヤ的なセブンスデー・アドベンチストである。「七千」という数は、神の民の残りの民を表している。カルメル山の危機、すなわち日曜法の危機を象徴するその時に、神はエリヤに、バアルにひざまずかなかった「イスラエルに七千人」がいると告げられた。使徒パウロはこれについて言及している。

では尋ねます。神はご自分の民を見捨てられたのでしょうか。断じてそんなことはありません。私もまたイスラエル人であり、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の者です。神は、あらかじめ知っておられたご自分の民を見捨ててはいません。あなたがたは、聖書がエリアスについて何と言っているか知らないのですか。彼が、「主よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇を取り壊し、私はただひとり残りました。彼らはいのちをねらっています」と言って、イスラエルに逆らって神に訴えたことを。では、彼に対する神の答えは何と言っていますか。「バアルの像にひざをかかめなかつた七千人を、わたしは自分のために残しておいた。」同じように、今の時にも、恵みの選びによって残りの者がいます。ローマ人への手紙 11:1-5。

「七千人」という言葉は神の民の残りの者を表しているが、それが象徴的に同定されている文脈を考慮に入れなければならない。日曜法の地震において打ち倒される人々は、不忠実なセブンスデー・アドベンチストの残りの者であり、その時その場で現代の霊的バビロンに捕らえられる。古代の文字どおりのイスラエルの預言的歴史において、バビロンが三度のうち二度目にエルサレムを荒廃させたとき、「その地の」「勇士」の「七千人」が残りの者として捕囚となった。

彼はエホヤキンをバビロンへ移し、また王の母、王の妻たち、彼の官吏たち、ならびに国の有力者たちを、エルサレムからバビロンへ捕囚として連れて行った。さらに、すべての勇士、すなわち七千人、そして職人と鍛冶屋千人、みな壮健で戦いに適した者たちをも、バビロンの王は捕囚としてバビロンへ連れて行った。そしてバビロンの王は、エホヤキンの父の兄弟マタニヤを彼に代えて王とし、その名をゼデキヤと改めた。列王記下 24:15-17

ひとたびエルサレムの勇士たちが日曜法の地震で打ち倒されると、「第三の災いは速やかに来る.そして第七の天使がラッパを吹いた。」第三の災いとは、第七の天使が吹く第七のラッパのことである。日曜法の「地震」の「時」に—イスラムが襲う！

第一の災いと第二の災いにおけるイスラムの主要な特徴の一つは、彼らが予言的役割を果たした歴史において一般的に行われていた戦争の戦術とは異なる戦法を用いたという歴史的事実であった。彼らの戦法は、突然かつ予期せぬ不意打ちを加えることだった。「アサシン」という語は、その時代のイスラム戦士の慣行に由来する。彼らの攻撃は、第二次世界大戦の日本の神風特攻隊のようであった。イスラムの戦士たちは、標的を暗殺する際に自分が死ぬことを覚悟していた。このため、一般的な慣行として、攻撃の前にハシシで酩酊し、死の恐怖を和らげて死への準備をした。彼らが被害者に襲いかかるときは、それは突然で予期せぬものであり、望ましい精神状態のためのハシシへの依存と秘密裏の攻撃とが相まって、ハシシという語との結び付きにより「アサシン」という語の語源的基盤を形成した。

第三の災いと第七のラッパは「まもなく来る」。

同様に、1844年10月22日には、契約の使者が彼の神殿に「突然」現れた。シスターホワイトは、契約の使者の到来の「突然さ」を、彼の到来が「予期されていなかった」ことを示すものとして定義した。したがって、1844年10月22日に成就した四つの「到来」は、すべて予期せぬ突然のものだった。

ダニエル書8章14節に示されている、聖所の清めのために私たちの大祭司としてキリストが至聖所に来られること、ダニエル書7章13節に示されている人の子が「日の老いたる者」のもとに来られること、そしてマラキが予告した主がご自分の宮に来られることは、いずれも同じ出来事の描写である。また、これはマタイ25章の十人の乙女のたとえにおいてキリストが述べられた、花婿が婚礼に来ることによっても表されている。『大争闘』426ページ。

十人の乙女のたとえは文字どおり繰り返される。したがって、1844年10月22日に成就した四つの「来臨」は、日曜法という地震において、再び文字どおり成就することになる。乙女のたとえに言及して、ホワイト姉妹は、真夜中の叫びの完全な成就である日曜法の地震において象徴されている突然さと不意性を示す証言に、さらに付け加えている。

品性は危機によって明らかになる。真夜中に「見よ、花婿が来る。出て行って迎えよ」と切なる声が告げられたとき、眠っていた乙女たちは眠りから目を覚まし、誰がその出来事に備えていたかがわかった。両者とも不意を突かれたが、一方は非常時に備えており、もう一方は備えがないことが明らかになった。品性は状況によって明らかになる。非常時は品性の真価を引き出す。思いがけない災厄、死別、危機、予期せぬ病や苦悶、魂を死と真正面から向き合わせるような出来事は、品性の内実を露わにする。神の言葉の約束に対する真の信仰があるかどうか明らかにされる。魂が恵みによって支えられているか、すなわち、灯とともに持つ器に油があるかどうか明らかにされる。

「試練の時はすべての人にやって来る。神による試みと精錬のただ中で、私たちはどのように振る舞うのか。私たちのともしびは消えてしまうのか。それともなお燃やし続

けるのか、恵みとまことに満ちておられる方との交わりによって、私たちはあらゆる非常時に備えているだろうか。五人の賢いおとめたちは、自分たちの品性を五人の愚かなおとめたちに分け与えることはできなかった。品性は、私たち一人ひとりが形成しなければならない。」Review and Herald、1895年10月17日。

日曜法の地震のとき、アメリカ合衆国は聖書の預言における第六の王国であることをやめる。危機に備えてこなかった七千人のラオデキヤのアドベンチストの残りの者たちは、獣の刻印を受ける備えのできた品性を表す。そのときイスラムが突然かつ不意に到来する。なぜなら、「第七の天使」がラッパを吹き鳴らすとともに「第三の災いはすみやかに来る」からである！

1844年10月22日にすべて成就した四つの「来臨」は、その後に繰り返される。第一の来臨は、ダニエル書8章14節の成就として、裁きの開始を示した。それは、「神の裁きの『時』が来た」と告げた第一の天使のメッセージを確認した。その成就是、日曜法から始まる地震の「時」を象徴しており、また、日曜法の制定のゆえにイスラムがアメリカ合衆国にもたらず「神の裁き」の「時」でもある。

マラキ書第3章の「契約の使者」は、1798年から1844年までの46年間で建て上げられた神殿に突然来て、ミラー派の歴史における「レビ人」と契約を結ぶためであった。日曜法という地震のとき、契約の使者は突然来て、よみがえった乾いた骨の神殿に入り、十四万四千の歴史における「レビ人」と契約を結ぶ。

日曜法の地震のとき、人の子は父のもとに来て、ダニエル書7章13節の成就として王国を受け取られる。これは1844年10月22日にそうされたのと同様である。というのも、その地震の「時」に、天に「声」があって次のように宣言するからである。「この世の国々は、我らの主とそのキリストのものとなった。主は世々限りなく統べ治められる。」また、神の前に自分の座に座していた二十四人の長老は、顔を伏せて神を礼拝し、こう言った。「今も、昔も、やがて来られる全能の主なる神よ、あなたに感謝します。あなたは御自分の大いなる力を取って、王となられたからです。」

地震のその時、御裁きが臨み、かつて殺された通りからすでによみがえらされていた二人の証人が立ち上がる。すると、大いなる軍勢のように、彼らは天に引き上げられ、その間に、残りの者である七千人のラオデキヤのアドベンチストは打ち倒される。賢い妻はその場で愚かな毒麦から分けられる。そのときキリストは御国を受け、第七のラッパが鳴り響く。それはまた第三のわざわいでもあり、突然かつ不意に到来する。そして「諸国民」は「怒り、あなたの御怒りが来た」。

諸国民を怒らせることはイスラムの預言的役割であり、それは地震の時に始まり、人類の恩恵期間の終わりと、「あなたの御怒りが来た」という言葉で示されている最後の七つの災いに至るまで続く。アメリカ合衆国における日曜法と、神の御怒りが最後の七つの災いとして現される恩恵期間の終わりの間には、イスラムを象徴する第三の災い、第七のラッパ、そして諸国民を怒らせることという三つの象徴が、真夜中の叫びのメッセージが日曜法におけるイスラムの到来の成就であることを証している。

初期のミラー派運動の場合と同様に、「真夜中の叫び」のメッセージは、失敗した予言の訂正であった。ミラー派の歴史においては、起こるはずだと予告された出来事が起こらなかったことが失敗であった。ミラー派史の初めには、神が1843年の図表の誤りの上に御手を置かれていたため、フィラデルフィアの人々は外れた予言を掲げた。

フューチャー・フォー・アメリカの終盤におけるラオデキアの運動において、神はその誤りを御手で覆われることは決してなさらなかった。預言の適用において時をもはや用いるべきではないという真理を覆い隠したのは、人の手であった。人の手は人の行いを象徴する。

十四万四千人の終末期の運動において、時を定めることは誤りであり罪であった。というのも、預言の時の定めはもはや用いてはならないものとされていたからである。そのような罪深い時の定めは、モーセが自分の息子に割礼を施せとの神の命令を無視したことによって予表され、また、契約の箱を取り扱えるのは祭司だけだという神の命令をウザが無視したことによっても予表された。これらの罪ある行為や不作為のいずれも、神の民が行うことは主のみどころではなかった。罪の定義はただ一つ、律法の違反である。モーセは割礼に関する神の律法に違反し、ウザは聖所に関する神の律法に違反し、この運動は神の預言的な律法に違反した。古代イスラエルには神の律法が委ねられ、再臨運動もその始めにおいても終わりにおいても、同様に神の預言的真理の委託を受けた。

切迫した状況の中で、チッポラは直ちに自ら彼らの息子に割礼を施し、こうして、この運動に関わった者たちが、メッセージに時間の適用を結び付けることを許した罪深い不作為に対して直ちに示すべき悔い改めを表した。ダビデも同様に、ウザの行為に対して深い悔い改めを示している。この運動が、2020年7月18日の予言における時間の適用が何らかの意味で正しかった、すなわちそれが神の御心であったと主張することは、モーセとチッポラは神の明白な命令を本当に守る必要がなかったし、神はウザが箱に触れたかどうかを実際には気にかけておられなかったと主張するに等しい。2020年7月18日は誤った予言であり、誤っていた要素は時間という要素であった。

これらの真実は次回の記事でさらに詳しく取り上げられます。

主は私に、第三天使のメッセージは出て行って、散らされている主の子らに宣べ伝えられなければならない、またそれを時期の設定に結びつけてはならないと示された。というのは、時期は二度と試しとはならないからである。私は、時期を説くことから生じる偽りの興奮に駆られている者がいるのを見た。第三天使のメッセージは、時期というものよりも力強いのだと。私は、このメッセージは自らの土台の上に立つことができ、それを強めるために時期を必要とせず、大いなる力をもって進み、その働きをなし、義において速やかに終わらされるのを見た。Experience and Views, 48.